人権に関する法令

- ・ 日本国憲法
- ・ 教育基本法
- ・ 学習指導要領
- ・ 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律
- ・ 人権教育・啓発に関する基本計画
- ・ 東京都人権施策推進指針
- ・ 東京都教育委員会の教育目標及び基本方針
- ・ 人権教育の指導方法等の在り方について
- ・ 児童の権利に関する条約等

学校の教育目標

- 知 しなやかな子ども
自らが学びに向かい、知識を知恵にかえ、行動できる子ども
- 徳 おだやかな子
相手の気持ちを大切に、あたたかでぬくもりのある人づくり、学校づくりの担い手となる子ども
- 体 すこやかな子
心身ともに健康な生活を送ることを意識して行動できる子ども

目標策定の方針

児童の願い

- ・ 思いやりの気持ちを持ち、友達と仲良くしたい。
- ・ 学級の中で自分を認められたい。

保護者の願い

- ・ 思いやりの気持ちと豊かな心を育てたい。
- ・ 学級で認められ、個性や能力を伸ばしてほしい。

人権教育の目標

思いやりをもって助け合い、自分と共に他の人を尊重する態度や行動をとることができる。

目指す児童像

- 低学年—よいこと・悪いことを判断できる子
- 中学年—協力し、助け合える子
- 高学年—人権課題に関心を持ち、自分と共に他の人を尊重できる子

人権教育に関する指導の実態把握

生活・進路指導については、指導計画が確立している。今後は、各教科における人権教育について、研究・研修を深め意識を高めていく。

人権教育を通じて育てたい資質・能力

- ・ 知識的側面・・・人権や人権擁護に関する基本的知識。人権問題を解決する上で具体的に役立つ知識。
- ・ 価値的・態度的側面・・・自己についての肯定的態度を持ち、自他の価値を感知し、尊重する意欲や態度。
- ・ 技能的側面・・・相手の立場に立ち、共感的に享受するための諸技能。能動的な傾聴、適切な自己表現・交流。

普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組

- ・ 普遍的な視点・・・公德心をもって法やきまりを守り、自他の権利を大切にしながら進んで義務を果たすように指導する。身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に役割を果たすよう指導する。
- ・ 個別的な視点・・・様々な人権課題に関わる差別意識の解消を目指して指導する。

学年・学級経営

- ・ 学級経営にあたっては一人一人の児童に対する理解を深め、学級内に生じる様々な課題を把握し、その解決に努める。
- ・ 児童が相互に人権を尊重し、支え合う人間関係を基盤として意欲的に生活できるよう、教育環境を整備する。
- ・ 言葉遣いや掲示物に注意をはらうなど、言語環境の適正化を図る。

日常的な指導

- ・ 人権教育にかかわる学級経営の目標を設定し、具現化する。
- ・ 一人一人が、学級の一員として存在を認められるようにする。
- ・ 児童が、相互に人権を尊重し合う人間関係を育成する。
- ・ 日常の様々な機会を捉えて、3つのお願い（「みんなの約束」を守る、丁寧で温かい言葉遣いをする、友達を大切にすること）について継続して指導していく。

教科等の指導

- 各教科—人権教育プログラムに明示されている各教科に沿った指導を行う。
- 特別の教科 道徳—思いやりの心を持ち、自他の権利を大切に、進んで義務を果たす心情や態度を養う、
- 特別活動—協力してよりよい生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。
- 総合的な学習の時間—自己の生き方について考えることができるようにする。

人権教育の年間指導計画のための方針

- ・ 人権教育の全体計画に基づき、教育活動を通して、児童の発達に即して計画的に作成する。
- ・ 各教科などの相互の関連を図り、体験学習を取り入れる。

教職員の研修

- ・ 人権教育推進担当を配置し、校内組織を整備する。
- ・ 人権問題についての正しい理解と認識を深めるため、研究や研修を計画的に進める。
- ・ 人権プログラムを活用する。

校種間の連携

小学校と中学校の9年間の取り組みを考え、近隣の複数の小学校と中学校で連携を図り、教職員間の交流を進める体制を整えながら、系統的、継続的な人権教育の実践に努めていく。

家庭・地域との連携

家庭・地域社会・関係諸機関と連携し、人権教育への関心や要望を捉え、教育活動に生かす。